

## 『保護者のためのInstagramガイド』 ～子どもが安全にInstagramを利用するために～

国内の利用者数は 3,300 万人を超え、10～20 代の若者たちに人気の SNS「Instagram (インスタグラム)」。“インスタ映え”という言葉が流行語になるなど知名度は高いですが、保護者の中には「名前は知っているけど、どういうものかよく分からない」という方も多いのではないのでしょうか。

Instagramのヘルプセンターには、『保護者のためのInstagramガイド』が公開されています。このガイドでは、Instagramのサービス概要や基本的な使い方などを、保護者に向けて分かりやすく説明しています。

例えば、「子どもたちはどうしてInstagramが大好きなのでしょう?」などの基本的な質問の回答の他、「なぜ複数のアカウントを持つ子どもたちがいるのか」、「嫌がらせを受けたら」などの解説や対応、「本アカ」「サブアカ・裏アカ」等の用語の説明などが掲載されています。

### 保護者のためのInstagramガイド

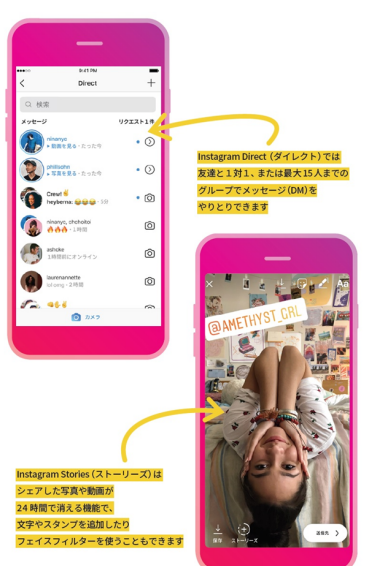
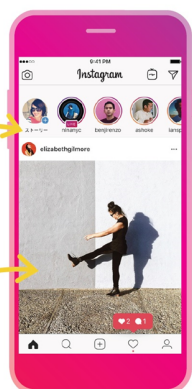


#### Instagramでの投稿のしかた

Instagramでの投稿は簡単です。写真か60秒以内の動画を撮り、フィルターや他の加工ツールを使って編集します。「次へ」を押して、キャプションや位置情報を追加したり、写真に人物をタグ付けしたりできるほか、Instagram上だけでシェアするか、FacebookやTwitterなどのSNSで同時にシェアするかを選択できます。また、Instagramではライブ動画を配信したり、ストーリーズのシェアも出来ます。これらについてはあとで詳細をご説明します。

ホーム画面の一番上、丸いアイコンが並んでいるのがInstagram Stories (ストーリーズ)で、アイコンをタップすると24時間で消える写真や動画を見ることが出来ます。

ホーム画面で、上下にスクロールして写真や動画を閲覧するところをフィードと呼びます。



Instagram Direct (ダイレクト)では、友達と1対1、または最大15人までのグループでメッセージ (DM) をやりとりが出来ます。

Instagram Stories (ストーリーズ)は、シェアした写真や動画が24時間で消える機能で、文字やスタンプを追加したり、フィルターを使うことも出来ます。

#### なぜ複数のアカウントを持つ子どもたちがいるのか

恐らく子どもたちは「本アカ」「サブアカ・裏アカ」という2つの用語を知っているはずです。「本アカ」は「本物のアカウント」の意味で、「サブアカ・裏アカ」は「もう一つのアカウント」を指します。

このように複数のアカウントを持っている子どもたちは、多くの場合、「本アカ」をより広範囲の人たち向けに、「サブアカ・裏アカ」は狭い範囲向けに使っています。複数のアカウントを持つことは悪いことではありません。見る人によって、自分の異なる側面を表現しているのです。例えば「本アカ」は理想的な自己像を投稿する場合、「サブアカ・裏アカ」は本来の自分に近い姿で、おどろきなども投稿するなど、より気軽に自分を表現する場所として使い分けています。

#### 自分をどう表現するか考えましょう

投稿は自分を表すものと覚えておきましょう

当然のことと思いますが、SNSやオンライン上の投稿は、あなた自身を表すものです。投稿によって自分が判断される可能性は、現在だけでなく、将来においても当てはまることを覚えておきましょう。なぜなら、オンラインへのコンテンツの投稿は、削除したり取り下げたりすることが不可能な場合もあるからです。いま、何をどのように投稿するかによって、将来の自分にどのような影響を及ぼすかを考えてみましょう。就職する際に不利になるかもしれない、人間関係を壊すかもしれない、おばあちゃんが動揺するかもしれないと思ったら、シェアしないことも考えましょう。投稿したあとで適切でないと思ったら削除しましょう。

#### 自分の見え方を管理しましょう

アカウントが非公開でない限り、自分がタグ付けされた写真は誰でも閲覧することが出来ます。他の人があなたを写真にタグ付けて投稿することも出来ます。もし、自分がタグ付けされるのを望まない場合は、自分のプロフィールからその写真を隠したり、タグ付けを外したりすることが出来ます。写真自体はInstagram上に残りますが、あなたのユーザー名とはつながらず、あなたのプロフィールにも表示されません。自分のプロフィールに写真が自動的に出てくるのが嫌なら、プロフィールボタンをタップし、オプションから「あなたの写真」を選択、「手動で追加」をタップします。アンドロイドのユーザーは、「+」をタップします。

警察庁の発表によると、令和元年にSNSを利用して性犯罪などの被害者となった18歳未満の子どもは、全国で2,082人と過去最多を更新、その中で被害児童が多かったサイトの上位5位に初めて、Instagramが入りました。

「子どもがInstagramを使っているが、Instagramがどういうものか分からない」という保護者の方は是非、このガイドに目を通していただき、安全性やプライバシー、利用時間など、子どもたちにふさわしい使い方を、子どもたちと一緒に考え、話し合うきっかけにしてください。

<参考> ・Instagram ヘルプセンター『保護者のためのInstagramガイド』ダウンロードページ

<https://www.facebook.com/help/instagram/299484113584685>

・警察庁「なくそう、子供の性被害」統計データ

[http://www.npa.go.jp/policy\\_area/no\\_cp/uploads/kodomonoseihigair1.pdf](http://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/uploads/kodomonoseihigair1.pdf)

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745 (直通) メール: [kenan@pref.fukui.lg.jp](mailto:kenan@pref.fukui.lg.jp)

★子どもの安全安心に関する情報などをツイッターで発信しています→

